

広島県・広島市折半保証 市場公募債の発行に向けて

IR説明資料
ダイジェスト版

令和5年1月

■広島高速道路債券の特徴

- **広島県・広島市の債務保証付きの公的セクター債券**
- **BIS規制上のリスク・ウェイト『0%』(地方債と同等)**
 - ・ 設立団体である広島県・広島市が、元金と利息のそれぞれ1/2を分担して保証し、主たる債務が履行遅滞となるとただちに広島県・広島市が履行義務を負うこととなります。

令和4年度広島高速道路債券(2月市場公募債)の概要

発行予定額	10年債・20年債で計50億円程度
償還方法	満期一括償還
資金の使途	高速道路の建設資金及び長期借入金の借換資金
起債時期	令和5年2月上旬(予定)
発行時期	令和5年2月28日(予定)
位置付け	金融商品取引法第2条第3号に該当する有価証券です
格付け	広島県・広島市の債務保証付き債券であることから、格付けは取得していません
主幹事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、野村證券、大和証券

平成19年度から、毎年度継続的に発行

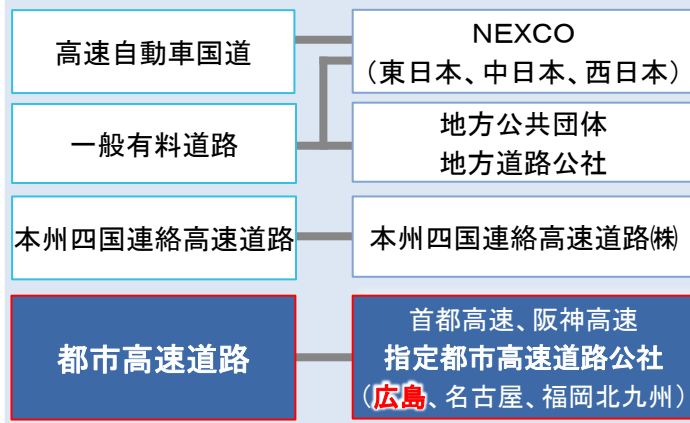
■ 令和元年度以降の発行実績

発行実績	回数	発行日	発行額	年限	表面利率	発行価格	スプレッド
	第16回	R1.12.16	60億円	10年	0.140%	100円	16.5bp
	第17回	R1.12.16	60億円	20年	0.335%	100円	5bp
	第18回	R2.2.25	50億円	10年	0.120%	100円	14.5bp
	第19回	R2.2.25	50億円	20年	0.320%	100円	5.0bp
	第20回	R3.2.19	90億円	10年	0.155%	100円	10.0bp
	第21回	R3.2.19	50億円	15年	0.357%	100円	8.0bp
	第22回	R3.2.19	90億円	20年	0.491%	100円	3.5bp
	第23回	R4.2.21	50億円	10年	0.274%	100円	8.0bp
	第24回	R4.2.21	70億円	15年	0.470%	100円	5.0bp
	第25回	R4.2.21	90億円	20年	0.600%	100円	1.0bp
	第26回	R4.12.22	35億円	10年	0.564%	100円	31.5bp
	第27回	R4.12.22	48億円	20年	1.181%	100円	9.5bp

■広島高速道路公社の事業概要

- 地方道路公社法に基づき、国の認可と広島県・広島市の各2分の1の出資を受け、設立された特別法人
- 整備計画・料金認可など、運営上の重要事項については、国・広島県・広島市の許認可等を受け、事業を遂行
- 市場公募債を含む借入金等で道路を建設し、お客様から頂く通行料金により借入金を償還する「有料道路制度」を活用した非営利事業を実施(市場公募債は、建設資金及び建設資金の借換資金に充当)

有料道路の種類と事業主体



広島高速道路ネットワーク図



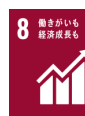
広島高速道路債券への投資意義

- **広島都市圏を支える道路整備により地域発展に貢献 → その効果は社会全体に波及**
 - ・ 日本の道路網の一翼を担い、都市間の人流・物流を支えることにより、社会経済の発展や国土強靱化に寄与
 - ・ 一定速度で走行可能な高速道路は、CO₂排出量を削減でき、カーボンニュートラルに寄与

中期経営計画の重点テーマ

重点テーマ

- ①ネットワーク機能の強化 ②予防保全対策等の推進
③災害対応力の強化 ④安全な走行 ⑤組織力の強化



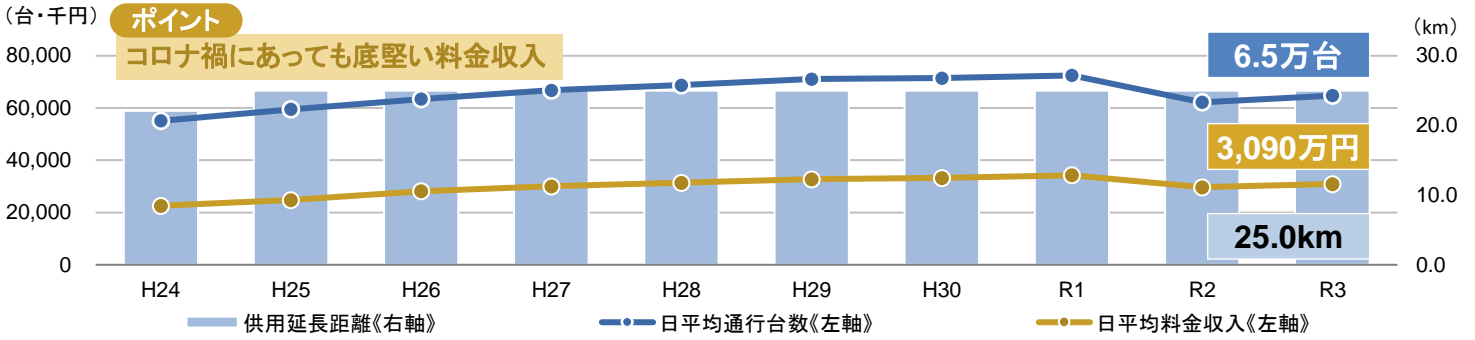
etc.

※ 中期経営計画については、広島高速道路公社ホームページでご覧いただけます。(URL: <https://www.h-exp.or.jp/project/>)

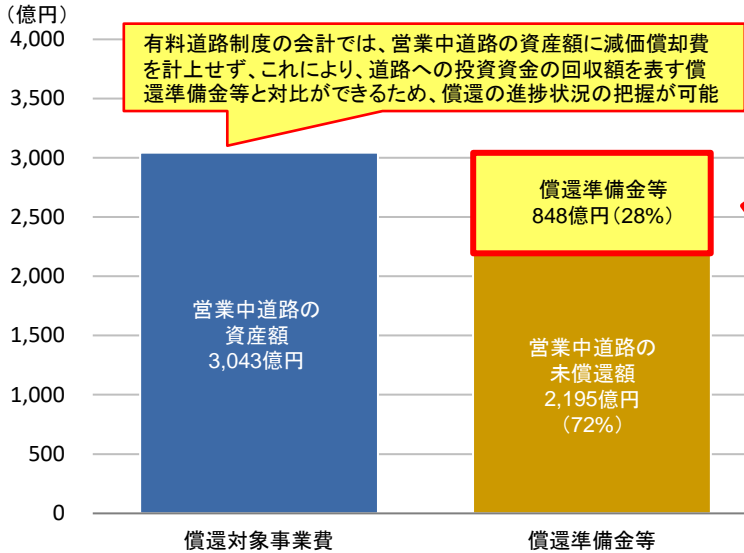
■広島高速道路公社の運営状況

注)本頁の端数処理においては、係数毎に四捨五入を行っているため、計において合致しないことがあります。

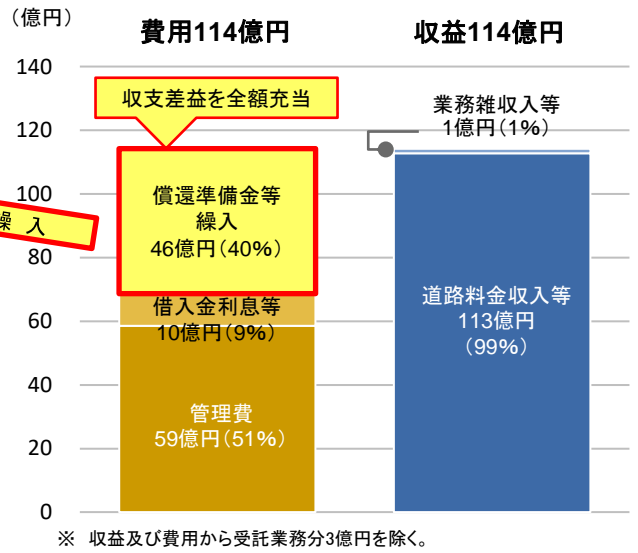
通行台数と料金収入の推移



令和3年度末の償還状況(B/S抜粋)



令和3年度の営業中道路※の運営状況(P/L抜粋)



令和3年度の貸借対照表(B/S)

(単位:百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
勘定科目	R3年度	勘定科目	R3年度
流動資産	12,518	流動負債	26,723
固定資産	400,168	固定負債	214,156
営業中道路	304,279	広島高速道路債券	144,000
道路建設仮勘定	95,247	地方公共団体借入金	33,354
その他	641	政府借入金	34,812
繰延資産	435	民間借入金	1,630
		その他	360
		償還準備金等(特別法上の引当金等)	84,806
		基本金	87,302
		剰余金	134
資産合計	413,121	負債・資本 合計	413,121

- 資産の状況**
- 資産の総額4,131億円のうち、お客様にご利用いただいている営業中道路の資産額は3,043億円で、資産全体の約74%を占める
- 負債及び資本の状況**
- 負債及び資本の総額は4,131億円で、主なものは、道路債券を含む長期借入金2,138億円、元金償還に充当する償還準備金等848億円、設立団体である広島県・広島市からの基本金873億円

令和3年度の損益計算書(P/L)

(単位:百万円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	R3年度	勘定科目	R3年度
事業資産管理費	5,458	業務収入	11,371
一般管理費	398	道路料金収入等	11,278
業務外費用	1,014	業務雑収入	94
受託業務費	331	受託業務収入	331
小計	7,201	業務外収入	52
償還準備金等繰入	4,553		
合計	11,754	合計	11,754

- 収益の状況**
- 収益の総額は118億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入であり、受託業務収入を除く全体の99%を占める
 - 道路料金収入は、コロナ禍が続く中において、前年度比4.5億円(4.2%)の増加
- 費用の状況**
- 費用の総額は118億円で、主なものは、道路の維持補修や料金收受などに要した管理費59億、業務外費用(借入金利息など)10億円及び借入金の元金の返済に充てた償還準備金等繰入46億円

償還率の推移

